

令和 6 年 2 月

(第 1 回)

京都府教育委員会会議録

1 開 会 令和6年2月6日 午後2時2分
閉 会 令和6年2月6日 午後2時25分

2 出席委員等

前川 教育長 小畑 委員 千 委員

安岡 委員 藤本 委員 鈴鹿 委員

3 欠席委員

なし

4 出席事務局職員

大路 教育次長

村山 教育監

仲井 管理部長

相馬 指導部長

高橋 管理部理事

石崎 文化財保護課長

山本 総合教育センター所長

門脇 総務企画課主幹兼係長

久江 総務企画課副主査

5 議事の概要

(1) 開会

教育長が開会を宣言

(2) 前会議録の承認

1月分の会議録について、全出席委員異議なく、これを承認した。

(3) 報告事項

ア 令和5年度京都府暫定登録文化財の登録について

【石崎文化財保護課長の報告】

○ 令和5年度京都府暫定登録文化財の登録について報告する。

京都府暫定登録文化財の制度については、平成29年度から京都府独自に実施しているもので、本年度においては、建造物10件、美術工芸品29件、合計39件を登録の対象としている。

代表事例について資料に沿って説明するので、4頁以降に掲載している写真とともに御覧いただきたい。

まず、建造物について説明する。

建造物では、福知山市に所在する「皇大神社本殿」が挙げられる。

次に、美術工芸品について説明する。

絵画では、綾部市に所在する自得寺に伝来した襖四面に描かれた、幕末の岸派当主・岸連山筆の「紙本墨画淡彩象に唐子遊図」が挙げられる。

彫刻では、京丹後市所在の大宮売神社が所蔵する「木造女神坐像（伝大宮売神像）」1軀が挙げられる

書籍・典籍では、宮津市所在の成相寺が所蔵する「紺紙金字法華経、附経箱1合」が挙げられる。

古文書では、京丹後市所在の丹後織物工業組合が所有する「丹後織物工業組合文書10巻」が挙げられる。

考古資料では、綾部市に所在する成山2号墳から出土した「飛禽文鏡」が挙げられる。

これらの暫定登録文化財について、本年1月26日に開催した第1回京都府文化財保護審議会での審議を踏まえ、教育長の専決により、登録を決定したものである。

今後については、2月8日に記者発表を行い、3月に京都府公報による告示を行う予定である。

【質疑応答】

○ 小畑委員

第1回京都府文化財保護審議会では、どのような意見が出たのか。

○ 石崎文化財保護課長

特に意見はなかった。

(4) 議決事項

- ア 第2号議案 令和6年2月府議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見について【非公開】

(5) その他

- ア 公開しないこととする議決について

(京都府教育委員会委員会会議規則第15条第1項第4号)

議決事項アについて、全出席委員異議なく、公開しないこととすることを議決

(6) 閉会

教育長が閉会を宣告